

注3

大学番号：016

[平成25年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

届出

北海道医療大学大学院 リハビリテーション科学研究科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東日本学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部総務企画課

職名・氏名 カチヨフ ミ ウラ セイ シ
課長 三 浦 清 志

電話番号 0133-22-2111

（夜間） 0133-22-2111

F A X 0133-23-1669

e-mail soumu@hoku-iryo-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東日本学園

(2) 大学名

北海道医療大学

(3) 大学の位置

〒061-0293

北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(トウゴウ シゲオキ) 東郷重興 (平成24年10月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ニイカワ ノリオ) 新川 詔夫 (平成22年4月)		
学部長	(イズミ タダフミ) 泉 唯史 (平成25年4月)		
研究科長	(イズミ タダフミ) 泉 唯史 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻 (修士課程) 修士(リハビリテーション科学) 又は— —博士(〇〇)—	2年	5人	10人	基礎となる学部等 リハビリテーション科学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	—	—	5	—	5	—	—	—	1.00倍 A. 入学定員 *「社会人」「一般」の区分ごとの入学定員は定めていない	
	(—)	(—)	(5)	(—)	(4)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
志願者数	—	—	5	—	5	—	—	—		
	(—)	(—)	(5)	(—)	(4)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
受験者数	—	—	5	—	5	—	—	—		
	(—)	(—)	(5)	(—)	(4)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
合格者数	—	—	5	—	5	—	—	—		
	(—)	(—)	(5)	(—)	(4)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
B 入学者数	—	—	5	—	5	—	—	—		
	(—)	(—)	(5)	(—)	(4)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
入学定員超過率 B/A	—		1.00		1.00					

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[0] 5	[-] -	[0] 5	[-] -	
2年次	/		[-] -	[-] -	[0] 5	[-] -	
3年次			/		[-] -	[-] -	
計	[]	[0] 5			[0] 10		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	5人	0人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	5人	0人	平成26年度	人	人		0 %
合 計	10人	0人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目	リハビリテーション教育特論	1・2後	2			2									
	リハビリテーション管理学特論	1・2後	2			2							兼2		
	リハビリテーション研究法特論Ⅰ(研究計画)	1前	2			1		1							
	リハビリテーション研究法特論Ⅱ(量的研究)	1前	2			0±	1						兼1 ・教授1名について就任遅延により兼任として担当することに変更(H25.10.1就任予定)		
	リハビリテーション研究法特論Ⅲ(質的研究&事例研究)	1前	2			1			1				兼1		
	医療英語特論	未開講 ←→2前		2										兼1 履修希望者がいなかったため(26)	
	医療経済学特論	未開講 ←→2後		2					1					兼1 履修希望者がいなかったため(26)	
	生命科学特論	1・2前		2		1									
	精神保健学特論	2前		2		1									
	神経科学特論	1・2前		2										兼2	
	保健医療統計学特論	1後		2										兼1	
専門科目	生体構造機能分野	解剖学特論	1・2前		2		1							兼1	
		解剖学演習	1・2前		2		1							兼1	
		身体運動科学特論	1・2前		2		1		1						
		身体運動科学演習	1・2後		2		1		1						
		運動・動作解析学特論	1・2前		2		2±								教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
		運動・動作解析学演習	1・2後		2		2±								教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)
		内部障害リハビリテーション学特論	1・2前		2		1								通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25)
	リハビリテーション治療学分野	内部障害リハビリテーション学演習	1・2後 未開講 ←→2後		2		1								通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25)
		運動障害リハビリテーション学特論	1・2前		2		0±			1				兼1 ・教授1名について就任遅延により兼任として担当することに変更(H25.10.1就任予定)	
		運動障害リハビリテーション学演習	1・2後		2		1			1					
		発達障害リハビリテーション学特論	1・2前		2		1								
		発達障害リハビリテーション学演習	1・2後		2		1								
		精神障害リハビリテーション学特論	1・2前 未開講 ←→2前		2				1						兼1 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(25)
		精神障害リハビリテーション学演習	未開講 未開講 ←→2後		2				1						兼1 履修希望者がいなかったため(25)
	地域健康分野	作業行動学特論	1・2前		2		2								
		作業行動学演習	1・2後		2		2								
		地域生活支援学特論	1・2前		2		1								
地域生活支援学演習		1・2後		2		1									
隣接科目	公衆衛生調査法	1・2前		2		2								兼3	
	遺伝医学・医療論	未開講 未開講 ←→2後		1										兼3 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25)	
	心身医学特論	未開講 ←→2後		1										兼1 履修希望者がいなかったため(26)	
	ヘルスプロモーション論	1・2後		2										兼1	
	音楽療法特論	未開講 未開講 ←→2後		2										兼2 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(25)	
	障害福祉学特論	未開講 ←→2前		2										兼1 履修希望者がいなかったため(26)	
	高齢者福祉学特論	1・2前		2										兼1	
研究指導	リハビリテーション科学研究	2通	8			12±	1	2	1					教育指導体制の充実を図るため教員を追加(26)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	30		37	7	30		37	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	歯学部附属歯科衛生士専門学校と共有 大学全体		
	校舎敷地	64,222.53㎡	1,650.00㎡	㎡	65,872.53㎡			
	運動場用地	27,800.00㎡	0㎡	㎡	27,800.00㎡			
	小 計	92,022.53㎡	1,650.00㎡	㎡	93,672.53㎡			
	そ の 他	57,315.74㎡	0㎡	㎡	57,315.74㎡			
	合 計	149,338.27㎡	1,650.00㎡	㎡	150,988.27㎡			
(2) 校 舎	専 用	72,110.27㎡ 72,209.57㎡	0㎡	0㎡	72,110.27㎡ 72,209.57㎡	校舎増築部分の登記により面積変更(25)		
	(72,110.27㎡) (72,209.57㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(72,110.27㎡) (72,209.57㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	43室	34室	44室	1室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	リハビリテーション科学研究科			16 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	機械・器具数の増加及び標本数の廃棄による減少(26) 機械・器具・標本数の増加(25) 図書は電子ブックを含む(26) 学術雑誌は、冊子から電子ジャーナルへ移行し、利便性を高めている(26)
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	リハビリテーション科学研究科	249,807 [80,074] (348,898 [185,948]) (-239,810 [-78,380])	2,869 [1,118] (2,630 [1,209]) (-2,606 [-1,216])	4,185 [3,270] (8,749 [7,169]) (-5,300 [-4,379])	6,244 (6,565) (-5,906)	98,098 98,014 98,020 (67,410)	2,276 2,500 2,208 (2,500)	
計	249,807 [80,074] (348,898 [185,948]) (-239,810 [-78,380])	2,869 [1,118] (2,630 [1,209]) (-2,606 [-1,216])	4,185 [3,270] (8,749 [7,169]) (-5,300 [-4,379])	6,244 (6,565) (-5,906)	98,098 98,014 98,020 (67,410)	2,276 2,500 2,208 (2,500)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		閲覧席の増設(25)	
	4,866.96 ㎡		437 445 席		275,000 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	1,746.49㎡		屋外野球場・サッカー/ラグビー場・テニスコート(27,800㎡) フィットネスセンター(411㎡)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	実績に基づく変更(25)
		教員1人当り研究費等	451千円 447千円 451千円	図書購入費	4,200千円	2,600千円	2,600千円	
	共 同 研 究 費 等	23,000千円	23,000千円	設備購入費	246,402千円	123,304千円	8,314千円	共同研究費については大学全体
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。
		1,000千円	800千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金・雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部 薬学科	6	160	3年次 10	970	学士 (薬学)	1.16	平成18年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
歯学部 歯学科	6	80	—	540	学士 (歯学)	0.62	昭和53年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
看護福祉学部 看護学科	4	100	3年次 9	408	学士 (看護学)	1.12	平成5年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
臨床福祉学科	4	80	3年次 9	348	学士 (臨床福祉学)	1.00	平成14年度		
心理科学部 臨床心理学科	4	75	3年次 2	294	学士 (臨床心理学)	1.04	平成14年度	北海道札幌市北区あ いの里2条5丁目	
言語聴覚療法学科	4	60	3年次 10	253	学士 (言語聴覚療法学)	1.19	平成14年度		
リハビリテーション科学部 理学療法学科	4	80	2年次 5	165	学士 (理学療法学)	1.12	平成25年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1758番地	
作業療法学科	4	40	2年次 5	85	学士 (作業療法学)	1.12	平成25年度		
薬学研究科 生命薬科学専攻修士課程	2	3	—	6	修士 (生命薬科学)	0.16	平成22年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
薬学専攻博士課程(4年)	4	3	—	9	博士 (薬学)	0.99	平成24年度		
歯学研究科 歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.56	昭和63年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
看護福祉学研究科 看護学専攻修士課程	2	15	—	30	修士 (看護学)	1.06	平成9年度		
看護学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (看護学)	1.33	平成11年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
臨床福祉学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (臨床福祉学)	0.60	平成16年度		
臨床福祉学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床福祉学)	0.00	平成16年度		
心理科学研究科 臨床心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (臨床心理学)	1.00	平成16年度		
臨床心理学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	1.16	平成16年度	北海道札幌市北区あ いの里2条5丁目	
言語聴覚学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (言語聴覚学)	0.10	平成18年度		
言語聴覚学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (言語聴覚学)	0.00	平成18年度		
リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション科学)	1.00	平成25年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について(AC対象学部等を含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位、大学院においては専攻単位)で記入してください。

5 教員組織の状況

<リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	新川 詔夫 (70)	平成25年4月	遺伝医学・医療論						
専	教授	泉 唯史 (57)	平成25年4月	リハビテーション管理学特論 内部障害リハビテーション学特論 内部障害リハビテーション学演習 リハビテーション科学研究						
専	教授	小島 悟 (43)	平成25年4月	リハビテーション教育特論 運動・動作解析学特論 運動・動作解析学演習 リハビテーション科学研究						
専	教授	鈴木 英樹 (46)	平成25年4月	リハビテーション管理学特論 地域生活支援学特論 地域生活支援学演習 リハビテーション科学研究						
専	教授	吉田 晋 (46)	平成25年4月	リハビテーション研究法特論Ⅱ（量的研究） 運動障害リハビテーション学特論 運動障害リハビテーション学演習 リハビテーション科学研究	兼任	講師	吉田 晋 (46)	平成25年4月	リハビテーション研究法特論Ⅱ（量的研究） 運動障害リハビテーション学特論 運動障害リハビテーション学演習	平成25年4月 退職都合により、就任が遅延 (25)
専	教授	堀本 佳音 (38)	平成25年4月	リハビテーション研究法特論Ⅰ（研究計画） 発達障害リハビテーション学特論 発達障害リハビテーション学演習 リハビテーション科学研究	専	教授		平成25年10月	リハビテーション科学研究	
専	教授	高橋 尚明 (43)	平成25年4月	解剖学特論 解剖学演習 リハビテーション科学研究						
					専	教授	青木 光広 (59)	平成26年4月	運動・動作解析学特論 運動・動作解析学演習 リハビテーション科学研究	平成26年4月 教育指導体制の充実を図るため、 教員を追加(26)
専	教授	山口 明彦 (50)	平成25年4月	身体運動科学特論 身体運動科学演習 リハビテーション科学研究						
専	教授	鎌田 樹寛 (53)	平成25年4月	リハビテーション教育特論 作業行動学特論 作業行動学演習 リハビテーション科学研究						
専	教授	本家 寿洋 (45)	平成25年4月	リハビテーション研究法特論Ⅲ（質的研究&事例研究） 作業行動学特論 作業行動学演習 リハビテーション科学研究						
専	教授	上野 武治 (70)	平成26年4月	精神保健学特論 リハビテーション科学研究						
専	教授	国永 史朗 (62)	平成25年4月	生命科学特論 リハビテーション科学研究						
専	准教授	浅野 雅子 (38)	平成25年4月	リハビテーション研究法特論Ⅱ（量的研究） 精神障害リハビテーション学特論 精神障害リハビテーション学演習 リハビテーション科学研究						
専	講師	宮崎 充功 (34)	平成25年4月	リハビテーション研究法特論Ⅰ（研究計画） 身体運動科学特論 身体運動科学演習 リハビテーション科学研究						
専	講師	千葉 芳広 (45)	平成25年4月	医療経済学特論 リハビテーション科学研究						
専	助教	大塚 裕之 (29)	平成25年4月	リハビテーション研究法特論Ⅲ（質的研究&事例研究） 運動障害リハビテーション学特論 運動障害リハビテーション学演習 リハビテーション科学研究						

兼任	教授	坂倉 康則 (58)	平成25年4月	解剖学特論 解剖学演習						
兼任	教授	半田 祐二郎 (60)	平成25年4月	医療英語特論						
兼任	教授	西 基 (55)	平成25年4月	公衆衛生調査法						
兼任	教授	石川 秀也 (61)	平成25年4月	高齢者福祉学特論						
兼任	教授	志渡 晃一 (58)	平成25年4月	公衆衛生調査法						
兼任	教授	向谷地 生良 (57)	平成25年4月	障害福祉学特論						
兼任	教授	坂野 雄二 (62)	平成25年4月	精神障害リハビリテーション学特論						
兼任	准教授	太田 亨 (49)	平成25年4月	遺伝医学・医療論	兼任	教授	太田 亨 (50)	平成25年4月	遺伝医学・医療論	平成25年7月 昇格 (26)
兼任	准教授	近藤 里美 (51)	平成25年4月	音楽療法特論						
兼任	講師	今野 多美子 (63)	平成25年4月	リハビリテーション管理学特論						
兼任	助教	松岡 紘史 (33)	平成25年4月	保健医療統計学特論	兼任	講師	松岡 紘史 (34)	平成25年4月	保健医療統計学特論	平成26年4月 昇格 (26)
兼任	講師	倉橋 昌司 (67)	平成25年4月	神経科学特論						
兼任	講師	松田 一郎 (80)	平成25年4月	遺伝医学・医療論						
兼任	講師	清水 兼悦 (50)	平成25年4月	リハビリテーション管理学特論						
兼任	講師	村田 和香 (50)	平成25年4月	リハビリテーション研究法特論Ⅲ (質的研究&事例研究)						
兼任	講師	和泉 博之 (66)	平成25年4月	神経科学特論						
兼任	講師	三宅 浩次 (79)	平成25年4月	公衆衛生調査法						
兼任	講師	久村 正也 (75)	平成25年4月	心身医学特論						
兼任	講師	芳賀 博 (63)	平成25年4月	ヘルスプロモーション論						
兼任	講師	鈴木 はるみ (60)	平成25年4月	音楽療法特論						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成26年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **既に設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
10	5	15	11	5	16	65	1
(9)	(5)	(14)	[1]	[0]	[1]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	シラバスを早急に整備したうえで、計画どおり大学ホームページにおいて公表すること。	平成25年12月に大学ホームページにおいて公表した。	
	歯学部歯学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	平成26年度入学生より学納金総額を減額、また歯学部特待奨学生制度による入学試験を実施した結果、24%の増加となった。	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻（修士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会【全学組織：FD委員会規程（別添）】 *リハビリテーション科学研究科FD委員会【研究科内組織】 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会：9回開催（平成25年度実績） *リハビリテーション科学研究科FD委員会：4回（平成25年度実績／学部FD委員会合同開催） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修（基本編）実施要領 ③FD研修（テーマ編）実施要領 ④授業アンケート実施要領 ⑤授業公開実施要領 他 *リハビリテーション科学研究科FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修セミナー開催要領 他 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会関係：FD研修（基本編）、FD研修（テーマ編）、授業アンケート、授業公開 *リハビリテーション科学研究科FD委員会：FD研修セミナー【全4回・9月11月2月】 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修（基本編）：講義およびワークショップ【年1回・4月（1日）】 ・FD研修（テーマ編）：講義およびワークショップ【年1回・8月（2日）】 ・授業評価アンケート：各科目最終授業時間・OCR用紙・設問20問・5段階評価【年2回・前後期末】 ・授業公開：全学部全教員対象【通年・随時】 *リハビリテーション科学研究科FD委員会：FD研修セミナー【全4回・9月11月2月】 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> *FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修（基本編）：平成26年4月5日（土）10:00～17:00 【リハビリテーション科学部対象教員：5名参加】 ・FD研修（テーマ編）：平成25年8月9日（金）9:30～17:00 【リハビリテーション科学部対象教員：6名参加】 *リハビリテーション科学研究科FD委員会関係： <ul style="list-style-type: none"> ・第1回FDセミナー：平成25年9月10日（火）17:30～19:00 【参加教員20名】 ・第2回FDセミナー：平成25年11月18日（月）18:00～19:30 【参加教員20名】 ・第3回FDセミナー：平成26年2月24日（火）18:00～19:30 【参加教員20名】 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>全学において平成25年度FD研修（テーマ編）では、「キャリア形成のための教育と支援」をテーマとして実施し、平成26年度FD研修（基本編）では、「チーム医療の観点から教員としてできること」をテーマとして実施した。それぞれ参加教員より、学部教員に内容等が報告され、各教員の授業運営や学生支援についての配慮に努めている。</p> <p>リハビリテーション科学部／研究科では、平成25年度テーマ『多職種連携の教育方法論と実践を学ぶ』を掲げ、研究会参加報告会と実践者による講演形式のセミナーを実施した。</p>
<p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート：実施有 ・実施時期：年2回・前後期末（各授業科目最終講義時） <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートの集計・解析結果について教員に配布しており、併せて結果についてHPに掲載し学生・教職員が閲覧することが出来るようにしている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科は、先進的な専門知識及び技術を備え、質の高いリハビリテーションを展開できる人材、ならびに保健・医療・福祉の現場で、優れた管理・指導能力を持って指導的役割を担うことのできる人材を養成することを目標としている。初年度は5名の社会人学生が入学したが、今年度は一定のキャリアを積んだ4名の社会人に加えて学部新卒者1名が入学した。昨年度と同様に本研究科の目的を達するにふさわしい学生を確保している。また、遠隔地居住（在職）や就業の事情により通学できない社会人学生には、授業の一部を遠隔地授業配信システムを利用した講義を行い、当初の予定どおり設置・運用することが出来ている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成26年7月1日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学内教職員及び関係大学、団体等に配布。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第3回）を受審し、平成23年3月「大学基準に適合」との認定を受けた。
- ・平成29年度に第4回目の評価機関（大学基準協会）の申請を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

()